

ウワナベ古墳の調査 2020



主 奈良県立橿原考古学研究所・奈良市教育委員会
催 文化庁・独立行政法人日本芸術文化振興会

令和2年度
日本博主催・共催型プロジェクト





奈良市北調査区

宮内庁第1トレンチ

檀考研調査区

後円部

奈良市東調査区

斜面

平坦面 (テラス)

前方部

発掘調査内容から推定される墳丘の長さ

270
~280m





現在見える墳丘の長さ

255m

しゅうこう
周濠

測量図は宮内庁提供

図は調査内容から推定されるイメージ図です。

-  奈良県立檀原考古学研究所調査区
-  奈良市教育委員会調査区
-  宮内庁調査区
-  奈良文化財研究所調査区 (1969年度)

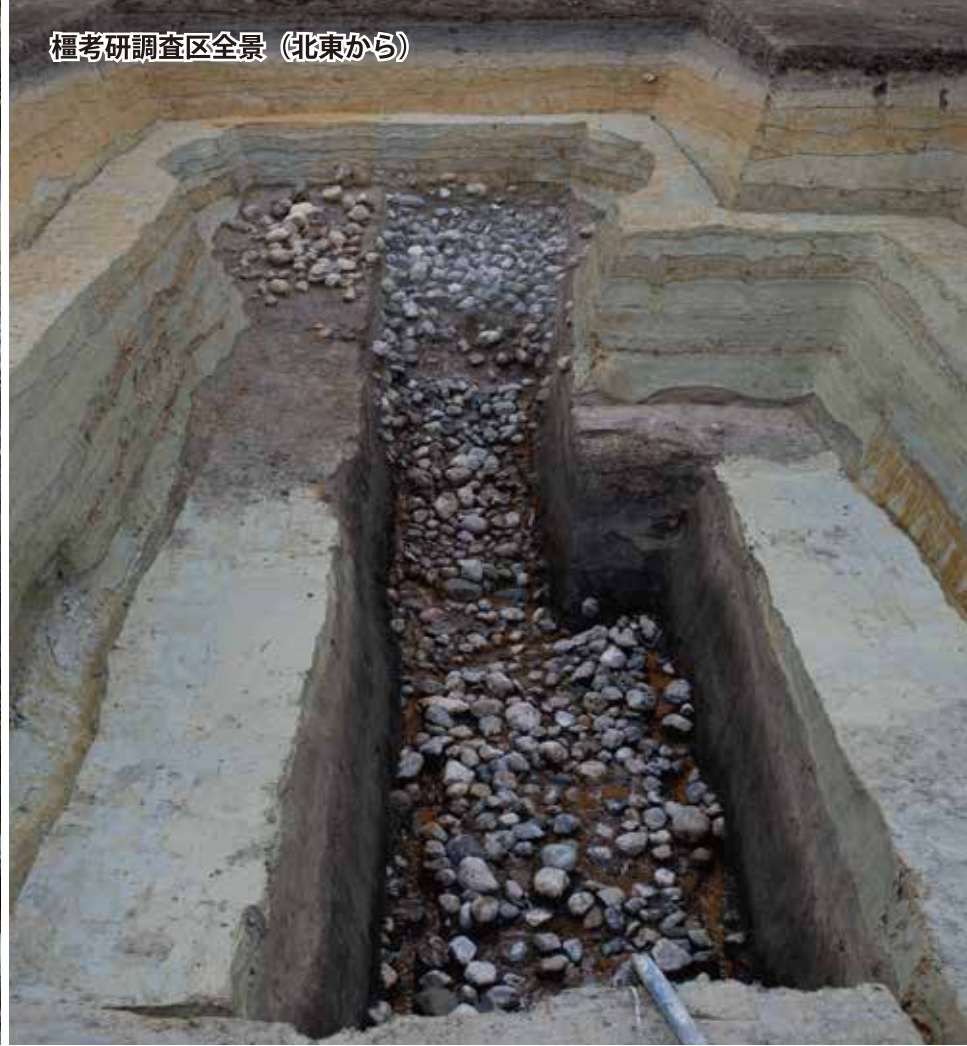
0 100m
1/1,500

檀考研調査区葺石（北から）



葺石の基底石

檀考研調査区全景（北東から）

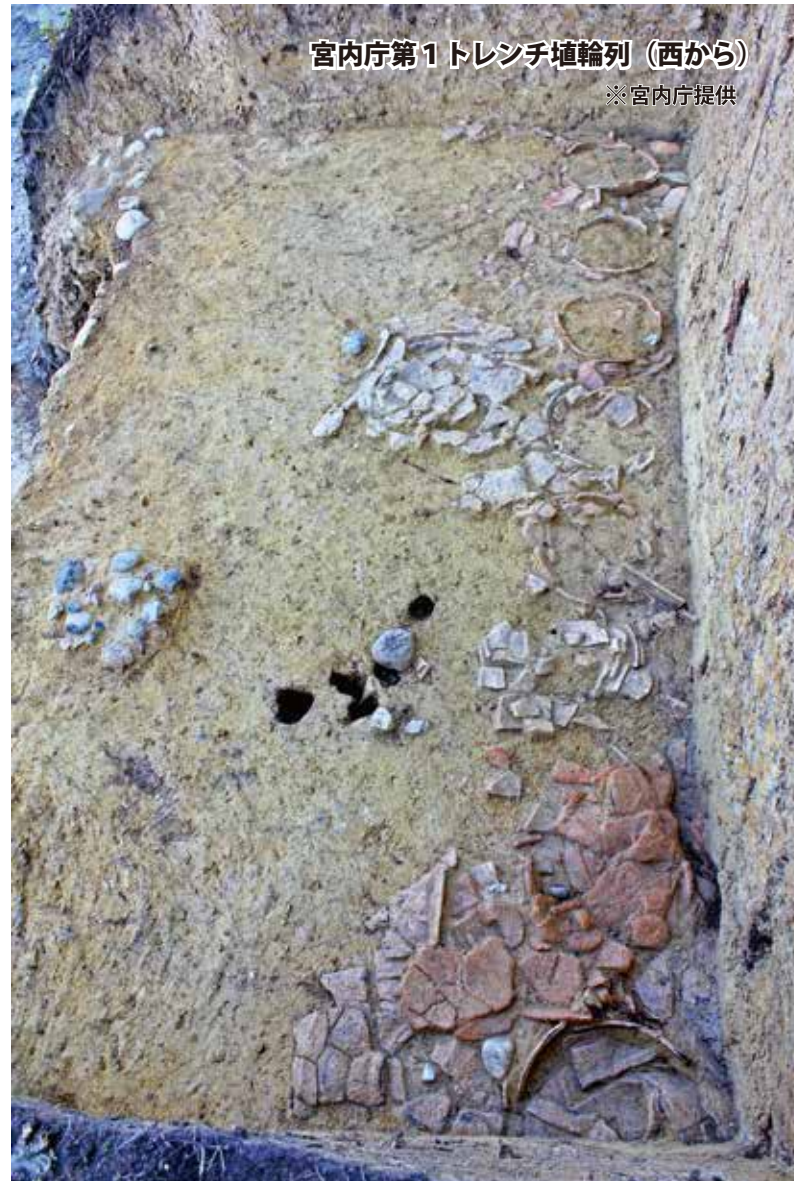


市東調査区葺石（東から）



宮内庁第1トレンチ埴輪列（西から）

※宮内庁提供



はじめに

ウワナベ古墳は、奈良市法華寺町に所在する古墳時代中期（5世紀）の前方後円墳（三段築成）です。周辺には、コナベ古墳やヒシャゲ古墳などの巨大な前方後円墳やその陪塚などが群をなしており、さらに西側に位置する五社神古墳・佐紀陵山古墳なども含めて、佐紀古墳群と呼ばれています。

ウワナベ古墳は、江戸時代ごろまで元明天皇陵と考えられていた経緯があり、現在は宮内庁によって宇和奈辺陵墓参考地として管理されています。ただし、宮内庁が管理するのは墳丘部分のみであり、ウワナベ池とも呼ばれる周濠部分は法華寺町農家組合により管理されています。これまで、国道24号バイパス線に伴う調査（奈良文化財研究所）、航空自衛隊奈良基地関連の調査（橿原考古学研究所）、堤の護岸工事に伴う調査（奈良市教育委員会）などが実施され、二重周濠がめぐることなどがわかっています。内外堤の埴輪列には、古墳時代前期に盛行した鱈付円筒埴輪が立て並べられており、ウワナベ古墳の埴輪の特徴として知られています。

今回の調査は、池水により墳丘1段目が削られてきているため、宮内庁が護岸工事に先立つ事前調査を行うこととなり、奈良県・奈良市がこれと同時に古墳の規模や形状の確認を目的として発掘調査を実施しました。

発掘調査の成果

橿原考古学研究所は古墳の北東側、奈良市は北・東側に調査区を設定し、墳丘裾を確認するために調査を実施しました。その結果、古墳は長い年月をかけて周濠の水により徐々に削られていましたが、本来の墳丘裾付近は、削られずに葺石が残存していることがわかりました。葺石には拳大の石材が使用され、葺石を葺く際の基準となる石列も縦・横方向ともに確認できます。残存する葺石の最も高い位置の標高は約70.7mで、内堤の墳丘側斜面で奈良文化財研究所が検出した葺石の上端と一致します。また、確認した葺石の裾の標高も前述の調査成果と一致しており、これを墳丘裾とみた場合、後円部が一回り大きくなり、古墳の全長は270～280mと推定されます。

なお、橿考研調査区では、墳丘裾の葺石とともに、周濠の底に人工的に置かれた可能性のある石がまとまって検出されています。これらが墳丘築造当初のものか、それ以降の時期のものか、検討中です。

周濠の堆積は、葺石を覆う茶褐色腐植土から9～12世紀ごろの土器が出土しており、そのころまでは旧状を維持していた状況がうかがえます。その上には粗砂と粘質土が互層になっており、そこに転落石や埴輪が含まれることから、12世紀以降に周濠に水が溜まり墳丘の浸食がはじまったことがわかります。

また、宮内庁の調査では、墳丘1段目と2段目の間の平坦面の外側に立て並べられた埴輪列を各所で検出しています。その大多数が鱈付円筒埴輪であり、5世紀としては特異な埴輪を墳丘でも使用していたことがわかりました。

まとめ

本調査で、周濠の堆積状況、および本来の墳丘裾や葺石が残存していることが明らかとなりました。ただし、それをもとに割り出した全長はあくまで推定であり、今後前方部等でも調査を実施することでより正確な規模が明らかになる可能性があります。墳丘の形状についても西側の造出しや渡り土手の有無など、周濠部分を調査することで確認しうる課題も多くありますが、巨大前方後円墳解明の第一歩が複数機関の同時調査によって踏み出せたことは大きな成果です。

前方後円墳の規模ランキング

1	大山古墳（仁徳天皇陵）	大阪府堺市	525m	7	渋谷向山古墳（景行天皇陵）	奈良県天理市	300m
2	誉田御廟山古墳（応神天皇陵）	大阪府羽曳野市	425m	9	仲津山古墳（仲姫命陵）	大阪府藤井寺市	290m
3	石津ヶ丘古墳（履中天皇陵）	大阪府堺市	365m	10	作山古墳	岡山県総社市	286m
4	造山古墳	岡山県岡山市	350m	11	箸墓古墳	奈良県桜井市	280m
5	河内大塚山古墳	大阪府羽曳野市・松原市	335m	12	ウワナベ古墳	奈良県奈良市	270～280m
6	五条野丸山古墳	奈良県橿原市	310m	13	五社神古墳（神功皇后陵）	奈良県奈良市	267m
7	土師二サンザイ古墳	大阪府堺市	300m	14	市庭古墳（平城天皇陵）	奈良県奈良市	250m

※（ ）内は宮内庁の治定による。全長数値は暫定的なものも含む。

ウワナベ古墳の調査 現地公開資料 2020年11月21～23日

奈良県立橿原考古学研究所

〒634-0065 奈良県橿原市畝傍町1番地

tel.0744-24-1101

奈良市埋蔵文化財調査センター

〒630-8135 奈良県奈良市大安寺西2丁目281番地

tel.0742-33-1821

※資料に掲載された図・写真は不許転載、赤色立体図は宮内庁提供